



徳島大学病院  
宮城 愛医師



脳卒中は脳の血管が詰まった  
り、破れたりして、その血管の  
先や周囲に栄養や酸素が届か  
なくなり、脳の機能障害を起  
こす病気です。脳血管障害と  
もいわれ、脳梗塞、脳出血、く  
も膜下出血などがこれに含まれ  
ます。

内服薬やフェニールプロ  
ックなどではなく、その  
効果も十分ではありません  
でした。2010年10  
月から新しくボツリヌス  
治療が認可されました。  
この治療では、ボツリヌ  
ス毒素を緊張し過ぎてい  
る筋肉に注射し、それを

柔らかくします。痙攣が完全  
に消失するわけではありません  
が、少しでも筋肉を柔らかくす  
ることで歩行や手の  
運動などの日常生活  
がしやすくなり、リ  
ハビリテーションも  
行いやすくなります。

## 脳卒中はボツリヌス治療とリハビリ

注意すべき点は、  
筋肉の力を弱め過ぎ  
ると逆に動きづらさ  
が悪化する場合があります。  
ボツリ  
ヌス治療は必ずリハ  
ビリテーションと組  
み合わせることが重  
要で、リハビリを併  
用しないと単に筋肉  
の力を落とすだけの  
結果になりかねませ  
ん。治療を受けた患  
者様には自主訓練の  
方法を指導していま  
す。ボツリヌス治療  
の効果は通常3〜4  
カ月程度で消失する  
ため、繰り返す必要  
があります。1回で  
は効果がはっきりし  
なくても、継続してい  
るうちに徐々に良  
くなる人もいます。

脳卒中を起こすと、手足が動  
かなくなったり、感覚がなくな  
ったり、言葉が出にくくなっ  
たりします。さらに麻痺した手足  
には、時間がたつと高い確率で  
「痙攣」が出現します。痙攣は  
筋肉が緊張し過ぎている状態を  
指す言葉で、具体的には手指が  
握り込んだ状態で開けない、肘  
が曲がったままで伸びせない、  
足先が足の裏の方に曲がってし  
まうといった症状が出ます。こ  
のため動作がスムーズにできな  
い、関節の動きが悪くなるなど  
の問題が生じます。

脳卒中後の痙攣に対する治療  
は、以前はリハビリテーション、  
を立てます。